

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年 7月20日（金）

2 確認箇所

陸側遮水壁凍結箇所（3号機原子炉建屋山側）

3 確認項目

陸側遮水壁補助工法の実施状況

4 確認結果の概要

陸側遮水壁では凍結しにくい箇所が2カ所あり、当該箇所に対して、凍結しやすくするため地下水の流れを遅くする薬液注入による補助工法が実施されている。

本日、当該1カ所において補助工法が実施されることから作業の状況について確認した。

補助工法の流れは以下のとおりであった。

- 補助工法を実施する箇所まで注入管を挿入する。ボーリングマシン（写真1）に取り付けられた注入管の先端から所定の位置で薬液を注入する。
- 薬液にはA液とB液（瞬結型又は中結型）があり、この2液を混ぜ合わせることによって固化する。瞬結型は数秒で固化し、中結型は数分で固化する。（写真2）
- 注入の方法は、A液+B液（瞬結型）を先に注入し、ある程度固まった層を作ってから、A液+B液（中結型）を注入して水平方向へ広がるように地中を固化させることにより、水の流れを遅くする。



（写真1-1）



(写真1-2)



(写真2-1)
A液とB液 (瞬結型)



(写真2-2)
A液とB液を混合している様子



(写真2-3)
5秒程で固化した様子

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。